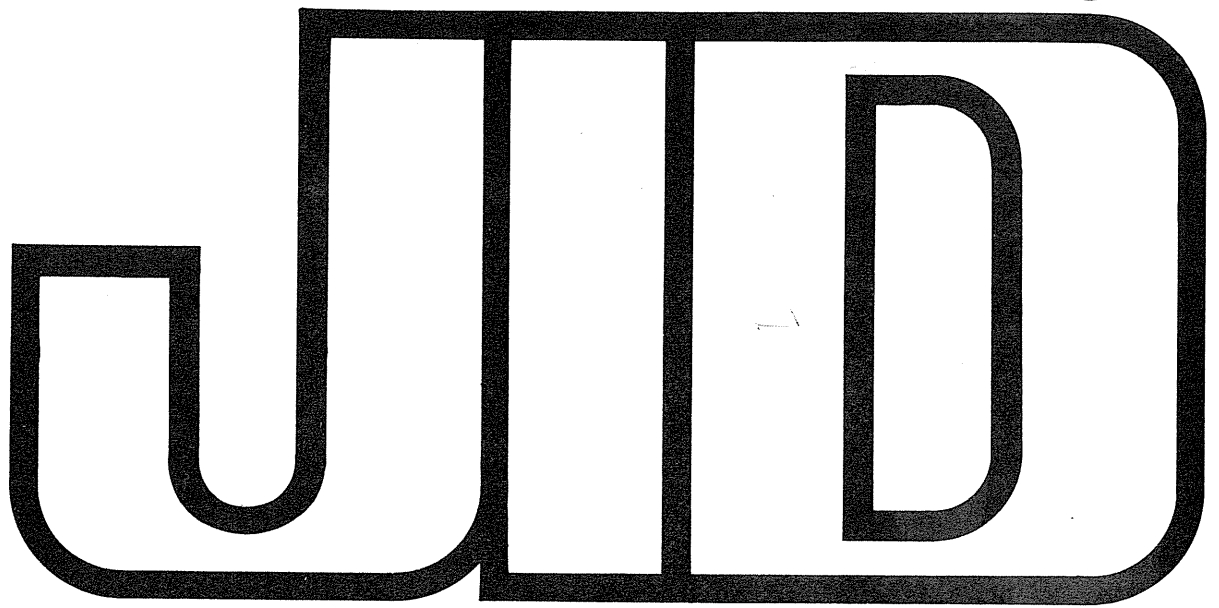


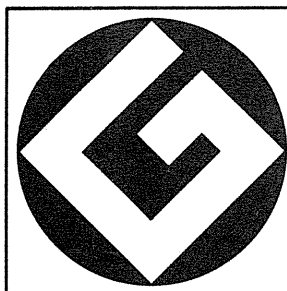


OCTOBER 1977

社団法人 日本インテリアデザイナー協会機関誌

目 次

総務委員会だより	1
'77トータルインテリアショウ(協賛事業)	2
理事長 I F I 訪問報告	3
会 員 の 移 動	4
新入会員の紹介	4
寄贈・購入図書	4
52・第三回理事会議事録	5
事 務 局 か ら	7



Gマーク商品選定制度20周年

20年
くらしに生きる
Gマーク

1977年10月デザイン振興月間

◇ 総務委員会だより

今や、協会のこれからの基幹事業を20周年に焦点をあてて活動しなければならない時期にきています。一方で、財政事情からくる事業活動の面など多くの協会の課題が山積しています。

こゝで、委員会にての各種の話題と報告をつづてみる。

一 小懇話会の開催と今後の方向

協会の事業活動の主体が正会員を中心としていること。しかし、ここいらで、賛助会員を含めたものを考慮してゆくべきであるとの考えから、この会合はもたれた。

もちろん、組織運営の面から整備してゆくべき点もあるが、賛助会員の中にも積極的な協力態勢をとり、この方向に期待するとの声もあり。

たとえば、その運営に当っては、幹事賛助会員など年度毎の当番制などをきめて、正会員相互との交流をはかるなど協会活動をより多面的に構成してゆく一助ともなりうるであろう。

また、賛助会員を大まかな業態 — 素材・生産・流通・販売など — 別にしわけ、それぞれの業種別情報交換の場を提供してゆくことも今後の方向として検討してゆきたい。

二 定例委員会の開催とその話題

9月20日(水) P.M.5:15 ~ P.M.8:00 於事務局
出席者 佐藤、長岡、鈴木(栄)、諸富、稲垣、尾上、事務局長
久しぶり委員全員の出席、おまけに、理事会の数日後をうけて話題はとどまるところなく議論百出の態。

始めに、事務局から財政事情や各委員会の活動についての簡単な報告をうける。とくに、会費の徴収状況については、未納者についての会費払い込みをうながせる技術を考えなければならない。しかし、反面、会報以外の活動の不活発をそのままにしておくのもおかしい。これは、悪循環ではないのかと。

たまたま、長岡委員の方から留学生研修についての簡単な報告から今後のこの種事業の方法に鳩首談議。この研修に関与した委員については、その労に大いに感謝しなければならない。反面、これら教育内容・日程・講師の人選・教材の作成とそれら費用・そして拘束される講師への謝礼についてのことなど、始めての大きな教育事業として多くの課題を提供しているであろう。関係者皆様への御礼の言

葉とともに、今後への大なる布石を期待してゆきたい。

その他の大きな課題のいくつかをあげる。

- ① 賛助会員をよく知る意味からも、宣伝も含めて説明会・見学会のようなものを開くべきであろう。

また、他事業委員会の活動の中に、賛助会員の活動参加を積極的に推進してゆくなどをはたらきかけること。

- ② 20周年事業総会議決でもあるし、強力にプロジェクトチームなりを構成して推進かたをうながすこと。

- ③ 役員選挙について

推せん者が相手の意向をきかずに推せんしているケースがある。そのために、今回は推せんされた人に対して、選管委員会の方から“あなたは推せんされました。ついては協会への心がまえや将来への考え方”を、30字程度にかいていただく。また、協会歴は、委員活動他などをくわしく掲載すること選管委員長(工藤氏)に申し入れられる。

- ④ 拡大委員会開催の検討について

今日、渉外(IFI)各事業委員会の活動など、単に事務局ニュースのみでしらしめるのではなく、広く万機公論に決する意味から開催のこと話題となる。

また、職域こん話や親睦会など、会員の生の姿の交流をはかろうとの話。たとえば名簿に写真をいれることもそのひとつ。(来年度作成にあたって決議する)

- ⑤ 新入会員歓迎会開催予告

まず、手始めに親睦を含め、同時に趣味の話もありませながら、この歓迎会をきめる。詳細は追ってお知らせ致しますが、まず大要は下記の通りです。

◎ 日時・11月28日(月)午後6:00から9時まで

◎ 場所・ラウンジ・モト(ICSの裏側)

在京の各委員はもち論、女性会員など多士済々の御出席を期待するとともに、毎年前半、後半(忘年会)に開く例会ともってゆくこと。などなど、今後とも会員皆様のための協会とするためにも、お気付きの点や会員の声をじかに事務局または機関誌なりに反映してゆくパイプ役ともなるように努力しております。(文責・尾上)

~~~~~  
の立場から参加する。(人選は同上)

以上のように、昨年より一歩前進するための〈共に考える機会〉として、協会員全員の参加を期待したい。

森谷延周(関東事業支部副委員長)



## ’77トータルインテリアショウ

## (協賛事業)

第5回工業生産住宅週間事業〈これからの住まい展〉が来る10月28日～11月3日、東京・高島平の新東京展示センター(日本住宅物流センター)で開催される。その目的は、工業生産住宅の健全な普及と消費者への啓発、住宅関連の設備機器ならびにインテリアの充実と向上、新技術の開発促進による住宅および住宅関連産業の振興にある。また、主催事業としては(社)プレハブ建築協会によるプレハブ住宅フェア、(財)住宅産業情報サービスによる’77トータルインテリアショウ、(社)日本住宅設備システム協会による住まいの設備システムショウがあり、さらに(社)日本建設材料協会による建材開発研究発表講演会が実施される。

トータルインテリアショウのこれまでの経過をのべると昭和48年3月、通産省生活産業局に「インテリア産業振興対策委員会」が発足し、昭和49年度には、委員会の中間報告として〈インテリア産業の現状〉を出版、次いで、50年度には〈インテリア産業のビジョン〉の中間報告書が作成された。

昭和51年10月の、東京の永福住宅総合展示場における「'76トータルインテリアショウ」は、過去2年間の討議の具現化の試みとして実施されたものであって、このショウの参加者は、壁装・フアブリックス・照明・家具の主要業種47社を数え、相互協力、相互刺激の初めての機会となった。

さて、今年行われる'77トータルインテリアショウの目的は、インテリアエレメントによるトータルインテリアのあり方と、実需につながるトータルインテリアの供給システムの提案を通じ関連業界の発展、さらには消費者の理解を深めることにある。これらの観点から、その訴求対象もインテリア販売店(末端取扱店・工事店・販売店)に重点をおき、さらに設計業・デザイナー・エンドユーザー等を対象にしている。

### 実施の概要は

- ・3階部分のオープンスペース〈トータルインテリア〉のルーム展示
- ・4階部分のオープンスペース〈トータルインテリア〉の

エレメント展示を計画し

- ・その他の計画としては

7階会場に、スライド・8%, 16%映画、カラーシュミレーターを駆使して、インテリアとインテリアエレメントに対する関心と知識を深める機会とし、

- ・さらには、パネルディスカッション、セミナー等の計画がある。

この催しに対する協賛団体としての当協会もしくは協会の協力関係は下記のとおりである。

### 1 トータルインテリアショウ実行委員会

実行委員長白石勝彦、実行委員として小野隆、森谷延周が企画立案・計画調整を担当している。

その他主催者

主要4業界ならびに消費者代表。

### 2 インテリアコーディネーターの人選

昨年度の反省とともに、今年は専門家がコーディネーターとして参加する(3階ルーム展示部分)。

実行委員会から希望者を募る要請をうけた当協会は、総務委員会および関東事業支部から、在京会員に対して希望を募った。実行委員会の人選の結果、今崎務、川上信二、中田重克、中村圭介、福田友美、山本棟子の諸氏に決定し、関東事業支部の山口道夫・柏原秀夫両氏は、参加企業グループの推せんで協力している。

### 3 パネルディスカッション

日時 10月30日(日)14～16時

場所 7階研修ホール

〈住まいのつくり手とつかい手〉をテーマに、ユーザーの生の声をもとに開催、パネリストとしては業界代表と共に白石勝彦、中田重克が専門家の立場より加わる(関東事業支部にて人選)。

### 4 セミナー

日時 11月2日(水)13～16時

場所 7階研修ホール

〈これからの居住空間とインテリアのあり方〉をテーマに主として住宅・インテリア産業界を対象として開催する。石黒正範、長岡貞夫、わたなべひろこの諸氏がそれぞれ

(P1. 右下に続く)

## ◇ 理事長 I F I 訪問報告

当協会は、国際的な関係団体との交流をはかるために、かねてから、I.F.I(International Federation of Interior designers・国際インテリアデザイナー団体協議会)への加盟を進めていたことは既にご承知のとおりであるが、去る1月に行なわれたヨーロッパインテリアデザイン視察団の団長として、1月20日、オランダにおいてアムステルダムにあるI F I事務局を訪問、事務局長リースベス女史と白石理事長の間に次のような会談がおこなわれた。

さらに相互の親交を深めるとともに、3月に開催される同協議会の理事会に提出すべき加盟申請のための書類の作成について打合わせを行なった。

なお、I F I理事会は、その後3月末に開催され、当協会は正式に加盟申請団体として認められ、1978年5月アメリカワシントンにおいて開催されるI F I総会に議案として提出される運びになっている。

" I F I " の概要は次のとおりである。

### I F I とは

I F I (創立1963年)は、インテリアデザイナー、インテリアアーキテクトの職能団体およびインテリアデザイン、インテリアアーキテクチュアに関連のある学校研究所によって構成されている非政治的組織。

### I F I の目的は

業務規定の実施、標準報酬の設定、資格登録、研修などインテリアデザイナー、インテリアアーキテクトの職能の保全と社会的地位の向上に関するすべての活動の調整を行う。

### I F I は何をしているか

会合、セミナー、会議の組織、ワーキンググループ、研究グループ、委員会の設置、職能の需給状態の調査審議他の国際組織との連絡、およびこれらの活動の促進や情報のための報告書、声明書の作成、出版

### I F I は如何に運営されているか

会員は団体会員、賛助会員、個人会員に分かれている。総会が最高の決定機関であり、各団体会員は代表者を総会に出席させることが出来る。総会は2年毎に開催され

る。総会は会務運営のため理事会を選出する。委員会グループはその都度設けることが出来る。

### 会 費 は

団体会員はその団体の年会費を基礎とした年会費を、I F I に支払う。I F I に支払はれる年会費は、会員数の変化によって定められたパーセンテージによって計算される。

0 ~ 300名 2 ½ %

301 ~ 600名 2 %

601 ~ 1000名 1 ½ %

事務局 アムステルダム (オランダ)

事務局長 リースベス ハーデンベルグ (オランダ)

理事長 カール L. W. ヴイルツ (オランダ)

副理事長 ベレナ フーバー (スイス)

### 団 体 会 員 ( ) 内は加盟年

1 BVB—ベルギー (1963)

2 MMI—デンマーク ( " )

3 BDIA—西ドイツ ( " )

4 CAIM—フランス ( " )

5 SIAD—イギリス (1972)

6 FHA—アイスランド (1967)

7 MKS—ハンガリー (1969)

8 BNI—オランダ (1963)

9 NIL—ノールエー ( " )

10 BOIA—オーストリア ( " )

11 VBI—スイス ( " )

12 SIO—フィンランド ( " )

13 SIR—スエーデン ( " )

14 ASID—アメリカ (1974)

15 IDC—カナダ (1976)

16 ZPAP—ポーランド ( " )

17 JID—日本 ( )

当協会は、第17番目の加盟会員となる。

( 白 石 勝 彦 )

53・5・12 ~ 53・5・28の間のI F I 旅行計画があります。

追ってご案内をさしあげます。

## 会員の移動

| 会 員 名   | 異動事項     | 新            |                                          |                |
|---------|----------|--------------|------------------------------------------|----------------|
| 岩 瀬 要 三 | 勤務先      | 〒152         | 東京都目黒区碑文谷5-15<br>川島テキスタイル工房              | ☎(03)710-1211  |
| 稲 垣 紘一郎 | 〃        | 〒104         | 東京都中央区銀座1-2-3<br>ハヤミズ銀座ビック               | ☎(03)562-2611  |
| 坂 元 健 二 | 〃        | 〒160         | 東京都新宿区西早稲田3-16-5<br>象設計集団                | ☎(03)208-2238  |
| 榎 山 幸 夫 | 〃        | 〒359         | 埼玉県所沢市下安松294<br>クラシックデザイン研究所             | ☎(0429)44-0592 |
| 松 本 政 雄 | 自 宅      | 〒465         | 名古屋市名東区平和が丘4-13<br>平和が丘住宅2棟503           | ☎(052)782-5733 |
| 石 松 軍 人 | 〃        | 〒830<br>-01  | 福岡県三潁郡三潁町西牟田<br>6472-33                  | ☎              |
| 村 井 輝 男 | 事務所      | 〒344         | 埼玉県春日部市藤塚2171-8                          | ☎(0487)35-2891 |
| 清 野 正 朗 | 〃<br>自 宅 | 〒102<br>〒156 | 千代田区九段南2-2-5 九段ビル6F<br>世田谷区経堂1-41-19 松原方 |                |
| 橋 本 勉 二 | 勤務先      | 〒933         | 富山県高岡市金屋本町1番5号<br>ホクセイ日 軽家庭用品(株)商品開発課    | ☎(0766)21-2051 |

## 赴 報

正会員 島 田 良 一 氏 10月1日逝去

謹んでお悔み申し上げます。

## 新入会員の紹介

### 1 正 会 員

| 会員<br>No | 氏 名     | 生 年       | 最終学歴                           | 勤務先              | 住 所                                                                                           | 1.勤務先<br>2.自 宅 | 推 薦 者 |
|----------|---------|-----------|--------------------------------|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------|
| 4 2 9    | 近 沢 晴 雄 | S. 16. 2  | 京都市立<br>美術大学<br>西洋画<br>S. 40卒  | 住江 織物 (株)        | 1. 大阪市南区安堂寺橋 4－5 5－1<br>〒542 (06)251－0081内3 1 6<br>2. 堺市金岡町 1 6 2 7－1 1<br>〒591 (0722)85－3598 | 富田 卓司<br>尾畑 祐司 |       |
| 4 3 0    | 種 田 亜 男 | S. 18. 12 | 日本大学<br>美術学科<br>デザイン<br>S. 41卒 | (株)岡村製作所         | 1. 大宮市宮町3－1 明治生命大宮ビル<br>〒330 (0486)44－2031<br>2. 埼玉県越谷市蒲生東町 5－1 2<br>〒343 (0489)62－8944       | 渡辺 力<br>安藤 孚   |       |
| 4 3 1    | 岸 田 勝   | S. 18. 9  | 岩手大学<br>特設美術<br>構成科<br>S. 41卒  | クラレ<br>インテリア (株) | 1. 東京都港区六本木 5－2－1<br>〒106 (03)403－9721<br>2. 町田市木曽町 2 9 4－9<br>〒194 (0427)27－0169             | 狩野 雄一<br>山品 元  |       |

## 寄贈・購入図書 (・印寄贈者)

光 藤 俊 夫 椅 子 の 世 界 52.9.25 ・(株)グラフィック社

—この愛すべき道具の表情—

## ◇ 52・第三回理事会議事録

日 時 昭和52年9月16日(金) 1:30PM

場 所 建築家会館3階会議室

出席者 理事長 白石勝彦 副理事長 渡辺 優

理 事 垂見健三 富田卓司 中村圭介 松本政雄 山口勇次郎

(委任状) 榎田 均 尾上孝一 岡村 実 川崎 浩 狩野雄一 長 大作

(欠 席) 坂本康四 島崎 信

監 事(委任状) 樋口 治 渡辺 力 事務局長 工藤広忠

### I 報告事項

#### 1 8月末現在会計報告(事務局長)

1)繰越金の額の減少(財政の悪化を示す)

2)今年度末までの支払可能資金と要支払概算額とを対比すると下表のとおりである(赤字308万円)

|          |        |           |        |
|----------|--------|-----------|--------|
| A 収入概算見込 | 953万円  | B 要支払額の概算 | 986万円  |
| 8月末現在    | 278 // | 広報関係      | 455 // |
| 未収会費     | 625 // | 人件費       | 308 // |
| その他収入見込  | 50 //  | 家賃        | 87 //  |
|          |        | その他       | 136 // |

C 年度末における未収会費(例年)250~300万円

$A - B - C = -308$  万円(年度末の赤字)

現状のままで進むと、年度末の赤字は上記の額以上とみられるので、とりあえず今年度は可能の限り未納会費の発生を最小限に止める努力がまず必要であると説明。

#### 2 8月末現在の事業進捗状況報告

##### 1)選考委員会

選考委員の選挙投票数が、過半数に達しないので開票を差控えているが、この場合定款の拘束はないので至急の開票することを了承する。

##### 2)総務委員会

8月10日に賛助会員小懇話会を開催した。その概要はJIDNo.79Bに記載したが、引きつづいて第2回が計画されている。

##### 3)広報委員会 (泉委員長)

① JID 77~79 の収支報告中、とくに収入実績が予算額をはるかに下まわっているため、収入増を計るための対策として、会員1人1冊購入運動・大口の購入者を求める・などのことで会員の協力を求めたい。

② 誌名を「インテリアデザイン」と変更することは、アンケートの結果も考慮にいれて、1月以降に実施の方向である。

##### 4)渉外委員会

① 開発途上国デザイン留学生の研修は、会員の方の大きな協力もあって、すでに軌道にのっている。終了は10月12日。

② IFI総会参加のツアー計画は、来年5月実施するが、計画を進めている。

##### 5)関東事業支部 (森谷副委員長)

① 東陶機器㈱茅ヶ崎工場の見学会、参加者52名、同社の絶大のご好意により懇親会とともに成巧裡に終了。

② Gマーク20周年協賛消費者セミナー 高島屋会場案は一応見送ることにした。

- ③ " 77トータルインテリアショウの協賛事業として「パネルディスカッション」を10月30日、「消費者セミナー」を11月2日、それぞれ新東京展示センター（日本物流センター）において開催するよう進めている。

6) 関西事業支部

- ① 7月来、国立住環境博物館（仮称）を大阪に設置する提案をテーマにした月例研究会を実施している。

|      |         |        |                 |
|------|---------|--------|-----------------|
| 7.22 | 国立国際美術館 | 宮島久雄氏  | テーマ<br>「日本の住まい」 |
| 8.29 | 内閣官房副長官 | 塩川正十郎氏 |                 |
| 9.22 | 神戸大学工学部 | 向井正也氏  |                 |

8月例会では、塩川氏の政治家の立場からの貴重な意見が出て、このことについて中央官庁へのアプローチには協力するとの発言もあった。現在の状況はまだ反応はうすい。

- ② 大阪デザインセンターに、トータル展示場（40ヘーベ）を常設し、一応2カ月単位で展示を変えてゆく。

7) 九州事業支部（とくに報告はない）

8) 中部事業支部

- ① 9月から、中日新聞、ナゴヤハウジングセンターなどと共催で、来年8月まで「住まいづくり研究と相談のつどい」として、12月を除き毎月開催することになっている。

|     |       |           |
|-----|-------|-----------|
| 10月 | 林寅政   | 外まわりの考え方  |
| 11月 | 佐久間達二 | 間取りの考え方   |
|     | 清家清   | 住まいのポイント  |
| 予定  | 松本政雄  | 経済的な住宅の設計 |
|     | 長大作   | 住まいの室内    |
|     | 岡本英造  | 住まいと設備    |

- ② 見学会・松下電工を予定

- ③ 家具を考える会・協会主催、家具工業会傘下10社の協力を得て、10月～3月の間「毎月基本的な問題を考える会」を開催することをすすめている。

- ④ 消費者セミナー、中部デザイン協会に協力して10月27日開催に決定している。

9) その他

- ① 会員のご不幸・謹んでご冥福をお祈りします。

水之江忠臣氏、大和勝太郎氏、小西次郎氏、（いずれも正会員）相次いで急逝された。以上のほか（株）竹中工務店社長・竹中宏平氏の逝去があった。

- ② 権利停止解除 瀬、松岡、迎井の3氏

- ③ Gマーク商品選定制度20周年記念式典・10月7日に開催され、記念行事として功労者4氏と12団体が通商産業大臣賞を受けることになり、当協会も被表彰団体となった。

## II 議 事

1 新入会員の審査

正会員として近沢晴雄（推薦者 富田卓司、尾畑裕司）が入会を承認された。

2 昭和53年度以降の方針（案）について

前回の理事会の決定に基づき、副理事長から方針（案）が提出され、一応の主旨説明があった。これが審議については本件のみを議題とする理事会を早急に開催して審議することとし、次回理事会を10月2日開催と決定した。

3 協賛依頼の承認（3件）

大阪国際見本市78特別展「トータルハウジングフェア」（トータルハウジングフェア運営会主催）  
ヨーロッパインテリアスタディーズ（トソー出版（株）主催）  
第3回日本インダストリアルデザイン会議（JIDA主催）

5:10 PM 閉会

## ◇ 事務局から

### 1 健康保険の取扱いについて

これは、文芸美術国民健康保険組合に加入するもので  
正会員・その家族・正会員の経営する事務所の従業員な  
どが対象になっております。但し従業員は正会員の家族  
として取扱われることになっています。  
現在の保険料は、正会員4,000円、家族2,500円と  
なっています。

### 2 建築家「所得補償保険」について

この保険は、病気・ケガによって業務に従事できない  
場合に、毎月の所得に相当する金額を、業務に従事でき  
ようになるまで保険金として支払われるものです。  
ご希望の方は事務局にご照会下さい。

### 3 インテリアデザインの業務および報酬基準およびプロ ダクトデザインの業務および報酬基準について

当協会の正会員を対象として、上記の基準書と、これ  
にもとづく契約書ができていますのでご利用下さい。  
正会員は1セット1,000円です。

### 4 名刺の型押し（既報）

「JID」名刺型押しの入った名刺を作りたい方は  
事務局にご連絡下さい。

### 5 顧問弁理士と顧問弁護士

弁理士 南 一 清 氏

東京都千代田区内神田1-6-3

☎(03)294-0611~3

弁護士 村 上 洋 氏

東京都千代田区内神田1-2-16

☎(03)294-2591

正会員は「正会員章」を提示して下さい。

### 6 大型会員章について

主としてフリーの会員のために大型会員章を希望の方  
に配付しています。価格は一応¥6,500円です。

申込者が10人まとまらないと発注できませんのでお  
含みおき下さい。サンプルは事務局にあります。

### 7 正会員 桜井定雄氏による「世界伝統家具設計図集」

ご希望の向はお申込み下さい。

会 員 ¥25,000

会員外 ¥30,000

機関紙 JID №80-B

発行人 白 石 勝 彦

編集人 JID総務委員会・事務局

発行所 社団法人 日本インテリアデザイナー協会

住 所 〒150 東京都渋谷区神宮前2-3-16  
建築家会館3階

電 話 (03)403-3649

発行日 昭和52年10月20日

印刷所 広洋印刷株式会 社

定 価 100円

振 替 東京・76389